

令和7年度第6回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和7年7月22日（火）13：30～14：09
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 福本教育長
正司委員 今井委員 山下委員 本田委員（WEB） 吉井委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 0名（一般0名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（福本教育長）

それでは、教育委員会会議を始めます。

本日は、本田委員がリモートでの参加となります。

本日は、議案1件、協議事項4件、報告事項1件です。まず、非公開事項についてお諮りいたします。議題のうち、教第16号議案については、教育委員会会議規則第10条第1項第4号により、社会教育委員及び法律又は条例に基づき設置する附属機関の委員の委嘱及び解職並びに任免に関する事。協議事項14、協議事項15、報告事項1については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして非公開としたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

（賛同）

（福本教育長）

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

教第12号議案 「児童生徒性暴力等の防止等に関する教師の服務規律の確保の徹底について（文科省通知）」への対応状況について

（福本教育長）

教第12号議案、「児童生徒性暴力等の防止等に関する教師の服務規律の確保の徹底について（文科省通知）」への対応状況について、事務局より説明をお願いします。

（川原評価・監察担当課長）

文部科学省より服務規律の確保の徹底について通知が発出されるとともに、7月10日に

は緊急で教育長会議が開催されました。通知及び会議資料につきましては、資料としてお付けするとともに、通知対応への対応状況を表にまとめております。従前より未然防止などの取組を進めてきており、基本的には通知内容の対応はできているのではないかと考えておりますけれども、改めて必要な周知や対応等を行って参りたいと思っております。緊急会議でもありましたが、児童生徒等に対する性暴力等は絶対に許さないという姿勢を今一度明確にし、取り組んでいきたいと考えております。

(福本教育長)

御質問等ございますか。

(正司委員)

対応状況については丁寧に取り組んでいただいていますので、少しほっとしています。引き続きしっかりと取り組んでいただきたいと思います。例えば、今回のような案件があった時に、保護者の方々から心配の声とかが校長や教育委員会事務局に寄せられたことはございますか。

(川原評価・監察担当課長)

校長に寄せられているという報告は聞いていませんが、心配された方々から直接我々に御連絡やメール等をいただいた状況です。

(今井委員)

対応状況をまとめていただいている中でお伺いしたいと思います。(7) アンケート調査関係のところでは、子供たちに定期的に行っている『「いじめアンケート(生活アンケート)」』において自由記述欄を設けており、幅広く児童生徒からの声を聞いている。』と記載されていますが、このアンケートでの質問はおそらく生徒間をイメージしていると思います。自由記述欄で急に生徒間以外の、先生やほかの方に関する問題を記入できる雰囲気になっているのか少し心配になりました。その辺りを教えていただきたいです。

また、同じ(7)で、通知文では教師等に対する定期的なアンケート調査も対象になっていると思いますが、先生方に対する定期的なアンケートについて対応状況のところに特に書かれていないので、その辺りの実情がどうなっているのか教えていただきたいです。

もう一点は(9)の対応状況のところでは、『学習用パソコンのデスクトップ上に教育委員会のホームページのショートカットが掲載されており、「悩み相談」のバナーをメニューのトップに配置し、周知している。』というところについてです。このショートカットは、相談窓口や相談方法・時間帯等が掲載されているページへのショートカットであって、ここから直接相談や通報先に繋がっているものではないという理解ですが、合っていますでしょうか。今後は、例えば学習用パソコンからも直接相談のメールが送れる、通報でき

るといったところまで将来的に導入できる可能性があるのかどうかについて、検討されているところがあれば教えていただきたいと思います。

(川原評価・監察担当課長)

1 件目、いじめアンケート（生活アンケート）は各学校園で行っていただいていると認識しております。おっしゃるように、いじめに関する主なアンケートになっているので、突然先生方について書きづらいということはもしかするとあるかもしれませんが、これまでもいじめアンケートから発覚した事案がありますので、一定程度効果はあるのではないかと考えております。そういう意味では、こういった定期的なアンケートの場で書いていただくことが効果的と言えるかは分かりませんが、方法としてはあるのではないかと考えております。

先生方へのアンケートにつきましては、アンケートを何回も取ることはできないことはないと思いますが、今のところ教職員相談室や教職員人事課に相談窓口を設けさせていただいております。そこで様々な訴えをいただいておりますので、ある程度は拾えており、一定程度の成果はあるのではないかと考えています。ですので、もう少しこの状況を見ていきたいと考えているところです。

それから、デスクトップ上のショートカットについてですが、神戸市教育委員会のホームページのトップページのショートカットを置いてありまして、トップページのメニューの一番上の一番目につくところに「悩み相談」というバナーを黄色で表示しています。そこをクリックしていただくと、お困りごとポストのページへのリンクやひょうごっ子SNS 悩み相談へのリンク等が出てきます。例えば、お困りごとポストのページへ行っていただければ、そこから直接投稿することができますので、何回かクリックする必要があるかもしれませんが、一人一台の学習用パソコンからお困りごとポストに投稿できるような状況に今はなっていると認識しております。

(今井委員)

まず、一つ目のいじめアンケートの件について、一定程度の効果は上がっているということで、それはありがたいと思います。書いてくださる場合はもちろん良いのですが、なかなか伝わりにくい場合もあるのではないかと考えています。いじめアンケートの定型書式は、いじめ問題審議会の先生方にも御意見をいただいて作っていると思いますが、自由記述欄のところに括弧書きで示唆するようなことを書く、または加筆があればより広く自由記述いただける可能性もあるのではないかと考えていますので、今後検討をお願いできればと思います。

2 点目の先生方へのアンケートについては、しばらく様子を見るということですが、他都市ではどうなっているのか教えていただきたいと思います。

3 点目について、学習用パソコンから何度かクリックすると直接お困りごとポストの

投稿ページに繋がるということは大変ありがたいと思いますが、低学年の子供でも十分そのページに繋がっていきけるような形になっているのでしょうか。どういうところにどういう被害が起きるか分からないので、端末を配られた一番小さい子供でも、そのページにスムーズに繋がることのできる仕様になるとより良いのではないかと思います。今後その辺りも含めて御検討いただければと思います。

（川原評価・監察担当課長）

他都市が定期的実施しているかどうかは把握できていませんが、例えば横浜や名古屋といった今回事案があった都市では緊急に調査を行うとお聞きしているので、緊急時にはアンケート調査を行っていると思っております。

（山下委員）

対応状況について、非常に分かりやすく整理いただいて感謝申し上げます。今井委員がおっしゃっていただいた、一人一台端末を用いるということに関連して、後に付けていただいている文部科学省の資料でも、「端末のデスクトップなどへの掲載」ということが書かれています。私も神戸市教育委員会のお困りごとポストのところをクリックしてたどってみましたが、やはり何回かクリックしないとたどり着かないので、ここに直結するリンクのアイコンをデスクトップ上につくってあげておいた方が良いのではないかと思います。

もう一つは、伝えたい内容を分かりやすく書いていただいていると思いますが、どの程度入力可能なのか、なかなかイメージできないところがありますので、可能であれば選択肢をクリックする、あるいはタップするだけで伝わるような形でも良いのではないかと思います。ただ、これもシステムの問題ですので、どうしてもという要望よりは、御検討いただきたいという内容です。

三つ目です。インフラが整備されても、実際に使ってみないと使い勝手が分からない面があるので、可能であれば一度練習するような機会を学校で設けられても良いのではないかという気もいたしました。避難所や避難設備の仕様と一緒に、実際チェックしてユースしてみないと、使い勝手が分からないと思いますし、実際に使用する際のハードルを少しでも下げなくてはいけない案件ですので、また御検討いただけるとありがたいと思います。

（吉井委員）

先般、教員による盗撮事案があつて、こういった通知が発出されていると思いますが、その際に議論されていた日本版DBSの適用について、神戸市ではどのような取扱い状況になっているのか教えていただきたいです。

（川原評価・監察担当課長）

採用試験の際に文部科学省の免許状失効者管理システムを活用し、児童生徒性暴力等に

よる免許状失効者等でないかを確認させていただいています。

(福本教育長)

報道で当該の自治体が使っていなかったという報道がなされましたが、神戸市はきちんと使っておりましたので、その辺りは問題ありません。

ほかにこの件で御質問ございますか。

非常に世間を騒がしている大きな事件でございましたので、学校の中に犯罪者がいるという考え方はなかなか厳しいですが、より一層丁寧に子供たちを見ていくということで取り組みを進めていきたいと思っております。

よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、次の案件に参ります。

協議事項13 「子どもが主役のこれからの学び」の推進に向けた公開授業の実施について

(福本教育長)

協議事項13、「子どもが主役のこれからの学び」の推進に向けた公開授業の実施について、事務局より説明をお願いします。

(藤井政策担当課長)

1. 趣旨・目的のところですが、子供が主役のこれからの学びの実現を目指して、一斉指導型中心の授業スタイルを見直し、子供たちが自己決定・自己選択する場面を授業の中で設定するなど、授業改善を進めており、今回「自己決定型学習」をテーマに公開授業を実施しております。

3. 参加した学校及び取材者については、中学校が10校、小学校が8校、マスコミが3社になります。

4. 公開授業の内容としては、中学2年生理科の「動物の行動としくみ」の単位について、様々な体験課題を用意し、子供たちの主体性を引き出すような授業を実施してまいります。

2ページ目、授業が終わった後、別会場で先生方やマスコミの報道も入って、授業の振り返りを実施しました。○自己決定型学習の概要と成果とありますけれども、校長から、部活動が生徒の主体性を育ててきた活動の一つであることは間違いないが、部活動が終了し、コベカツが開始する中において、学校生活の中心となる授業を改善し、主体性を育む必要があるという話がありまして、○質疑応答の中では、コベカツが始まり、時間を捻出することができれば、より主体性を導く授業に対応できるということや、生徒の変化としては、

主体性の向上が見られるということ。一斉授業の課題については、一斉授業と自己決定型学習の手法を適切に組み合わせる必要がある、という質疑がございました。

○今後の展望として、教育長より、誰一人取り残すことなく、全ての子供が主役になるような授業を学校の柱にしていくという話がございました。

我々、教育委員会事務局としましては、今回、長田中学校でこういった独創的な授業を公開授業という形で実施いたしました。そのほかの学校も含めて取り組んでいきたいと考えております。（参考）に記載していますとおり、全市研修会の開催ということで、教育長からビジョンを伝えていただくとともに、文部科学省の田村主任視学官より専門的なお話を頂戴しています。こういったことをベースに、昨年度の末には「指導の重点」ということで、具体的なポイントを提示しました。また、今年4月から事務局の指導主事が全ての学校を訪問しまして、全ての授業を視察し、アドバイスや研修を実施しています。1学期で全ての学校の訪問を終えましたので、2学期はそのフォローをしていくことを予定しています。「推進校」ということで、長田中学校もその一つになりますが、拠点になる学校で今回のような公開授業を実施し、ほかの学校にも展開していきます。このように、子供が主役のこれから学びを全校で推進したいと考えております。

当日、サンテレビから取材がありまして、夕方に2、3分ですけれども放送がありましたので、見ていただければと思います。

（映像）

（ナレーション）

神戸市が目指す、子供の主体的な学びを実現しようと、市内の中学校で自己決定型学習を取り入れた授業の様子が公開されました。

神戸市は、子供が興味や到達度に合わせて学習を選択する主体的な学びを実現するため、市内の小・中学校等で授業の改善に取り組んでいます。このうち、神戸市立長田中学校では、生徒たちが自分で学習計画を立てたり、授業の時間の使い方を自分で決める自己決定型学習に昨年度から取り組んでいて、今日は2年生の理科の授業が公開されました。学習のテーマは、「動物の行動としくみ」で、授業では生徒たちが学習する場所や学ぶためのツールも自由に決めることができます。そのため、教室を移動して、タブレット端末を駆使しながら学びを深める生徒や、教員が用意した教材を活用する生徒の姿が見られました。このほか、生徒同士で相談して、分からないところを教え合ったり、教員にアドバイスをもらいに行く生徒等もいて、自分に合った学習スタイルで理解を深めていました。

（生徒1）

パソコンで動画を見たりして、自分の好きなペースでできる。

（生徒2）

友達と一緒に見た。楽しかった。質問とかし合って、プリントを終わらせるところがとても良いです。

(生徒3)

最初は難しかったんですけど、最近は自分で理解が深められていると感じている。

(先生)

受け身の姿勢だけでは生き抜いていけないような社会になっていると思うので、主体的に学ぶ力、取り組む力をつけてもらいたいと考えています。

(ナレーション)

神戸市は引き続き市内の小・中学校で取組を進めていきたいとしています。

(映像終了)

(福本教育長)

この件について、御質問等ございますか。

(山下委員)

先ほどのVTRも非常に興味深く拝見しました。事務局の皆さんも多数御参加いただいたようで、大変心強く感じた次第です。VTRの中で非常に生き生きとした状況を描いてくださっていて、こういう形で報道してくださることは本当にありがたいことだと思いました。

生徒側のポジティブな変化については、大変分かりやすかったと思いますが、先生方のポジティブな反応や変化について、もう少し具体的な情報があれば教えていただきたいと思います。

二つ目に、教育活動は万人に対する万能薬というものではおそらくないので、これで大分やる気を出してくださる生徒もおられると思いますが、その反面、なかなかまだ難しいという方も残るかもしれません。そういったネガティブな反応がどれぐらい見受けられるのかということと、それに対してどのような対応が今後考えられるのか教えていただきたいです。

3点目ですが、個人的に、意欲についての成果は見えてきたのではないかと思います。学力面でも非常に成果が出るのではないかと思います。もちろん教科や単位によってこういう形が合う、合わないという相性があるかもしれませんが、ぜひ単位別や学年別、あるいは彼らのこれまでの状況との比較で成果が検証できればすごくありがたいと思いました。成果の検証に関して、特に学力面での状況について、検証の御予定等があれば教えていただければと思います。

（藤井政策担当課長）

一つ目についてですが、子供たちが主体的にならないといけないと同時に、教員や事務局の我々も主体的にならないといけないと思っています。長田中の先生方は、外部の自治体も呼んで研修会を開催するなど、非常に前向きに取り組んでおられますので、そういった動きを広げていきたいと考えています。こういった授業を実践できる状況になっていない段階の学校もあるとは思いますが、しっかりと順番に実施できればと思っています。

二つ目の、子供たちがネガティブに捉えている部分があるのか、こういった対応をするのかというところについてです。全ての授業が子供たち主体の授業に変わっていくというわけではございません。単元の中のふさわしい授業の中で、子供たちが主体的に考えられるように授業を工夫しながら取り入れていくということです。生徒の理解や意欲に応じて実施していきますので、先ほど御覧いただいたような前向きな意見や声が出てくると思います。我々としても、どこの学校も同じように一律的に、ここの単元で必ずこれを取り入れるようにとするのではなく、子供たちの状況に応じて取り入れていくことを考えています。しっかりと進めていく必要がありますが、念入りに実施していく必要があると思っています。

三つ目の学力についてです。長田中の場合は子供たちも理解しながら、しっかりと実施しておりますので、先ほどのような声が出ています。ただ、子供たち自身が理解しないまま実施してしまいますと、結局受け身の形となり、極端に言うと自習のような時間になりかねない部分もあると思います。教員も理解し、子供たちも理解しながら実施することが必要で、そこを理解していないと、せっかくの試みも逆に学力に課題が出てくる場面もあると思います。知識、技能を定着させるような場面では一斉型の授業をしっかりと行い、その上で、ベースになる知識を前提に、子供たち自身に考えさせるという段階を追っていくことが必要だと思っています。

（本田委員）

質疑応答のところで、自己決定型学習の準備にかかる教員負担という質問に対して、準備の負担があるということと、時間の捻出が課題だと御回答されている部分についてです。具体的に今どういった負担があるのかということと、教育委員会としてサポートできることがあるのかどうか、検討材料として教えていただきたいと思いました。

（藤井政策担当課長）

長田中のこの授業に関して言うと、先ほど動画の中でもありましたけれども、かなり作り込んで用意をしています。子供たちが直感的に学ぶことができるような教材作成や、子供たちが動画を見て学べるようなものやすごろく等、かなり作り込みをしていますので、報道の方々から、苦労はないのでしょうかというような質問がありました。今回の長田中の場合は、ある意味先駆的に行っている部分もありまして、かなり丁寧に時間を捻出して

実施したと思います。ただ、全ての子供の主体的な学びにここまでのレベルが必要なわけではありませので、様々工夫しながら、もっと簡易な準備で子供たちに考えさせるような方法も考えられるのではないかと思います。具体的にどの単元のどの場面でどういう提示ができるかについては、我々事務局としても学校現場と相談しながら、しっかり提案をしていきたいと考えています。

（吉井委員）

神戸市教育振興基本計画の中に、「一人ひとりに応じたきめ細かな支援」とありますので、その取組の一つとして、非常に前向きなチャレンジな取組ではないかと思います。我々の会社でもそうですけれども、自立性や自己管理については、主体性を養うという観点からメリットもありますが、一方で任せる部分のリスクもあります。今回の場合、モデル校として長田中学校で実施されていて、その際のメリットは様々御説明いただいたのでよく分かりましたが、逆に懸案となる事項や心配な事項が現時点でお分かりになっておられましたら、ぜひ御説明いただければと思います。この取組を神戸市の中学校に横展開していこうと企画されているということですので、現在のモデル校での心配事、懸案事項がありましたら、ぜひお聞かせいただければと思います。

それから、先ほど山下委員がおっしゃったように、この成果をどのように測るのか。一人ひとりの進路を何かで測って、成果を確認するのかと思いますが、その測り方はかなり難しいように思います。成果をどのように測るのかということも併せて御説明いただければと思います。

（藤井政策担当課長）

まず、デメリットですけれども、先ほど動画に出てきていました持田先生も、これからの社会を生き抜いていくためには、受け身の姿勢では難しい、主体性を持った学び方が必要だということを言っておりました。我々としても全く同感です。ですので、子供たちが自ら学び、つかんでいくような授業のつくり方は必ず必要だと思っています。ただ、先ほど御指摘もありましたとおり、学力の部分をしっかり確保していく必要があります。受験もありますので、必要な知識、技能を身につけた上で、全ての子供たちが主体的に学べるような形をつくっていかないといけないと思います。明日から全ての学校、全ての授業ですぐには実施できない、やはり一定程度の準備期間がどうしても必要になるところは課題ではないかと思います。

成果をどう見ていくのかというところですが、教員や子供たちの声も聞いていく必要があると思っています。もちろん全国学力・学習状況調査で、学力や学校生活における主体性を問う質問もありますが、我々も様々なツールを持っていますので、できるだけ効率的に行いたいと思っています。

(吉井委員)

教員の負担が大きくならないよう、ぜひ御留意をお願いしたいと思います。

(福本教育長)

デメリットとしては、知識、理解の習得の部分と教員の負担です。授業の準備において、1時間の授業を行うために何分間教材研究をするのかということに関する正解はありません。一斉授業をする場合、ある程度の時間で準備ができますが、自己決定型学習を行う場合は、子供たちの反応や動きを何通りも考え、それを受け止めるためにプリントも何種類も用意します。子供たちが興味関心を高めるための仕掛けを準備しますので、今までの授業と比較すると、教材研究に相当時間がかかるだろうと思います。また、子供たちが自己決定型学習を行えるよう、慣れる必要があります。先ほどの長田中の子供たちは、去年の夏からスタートし、やっと今見ていただいたようにできています。この辺りの労力も相当必要になりますが、最終的には自己決定型学習を行っていくということで考えているところでございます。

(田尾教育次長)

教材研究はもちろん大変ですが、長田中の職員が言うには、子供の視点に立った教材研究をする力が自分の中で育っていったことについて、すごく前向きな意見がありました。確かに時間はかかっていますが、用意した学習材を子供が活用し、「分かった!」「なるほど」「こういうことか!」という声を聞くことが、自分たちにとっては非常に良いことであるということでした。ただ確かに、随分夜遅くまでかけて教材を準備したというような実態もあります。各教科の実践研修グループの研究組織がありますので、それぞれの教員が作った学習材をどういう場面でどのような形で活用した場合に、成果や子供たちの学びが深まったのかというようなことの共有を行い、学習材をみんなでつくっていく必要があるのではないかと思います。この辺りは事務局から働きかけていきたいと思っています。

学力面についてですが、今回やっているのは単元内の自己決定型学習です。例えば10時間の単元の中でずっと子供たちに何の確認もせずに10時間進めるわけではありません。途中で教員が、子供たちがどこまで何ができているのかということを、折を見て確認しております。これまでは単元の終わりや中間や期末テスト、実力テスト等、長期に時間を取って確認していたことを、学習の中で小刻みに、子供たちの達成度を上げるという確認をしていきます。自己決定型学習は子供たちに単に委ねれば良いというように誤解したまま、子供たちに提供してしまわないかは我々としても非常に懸念しており、しっかりと神戸市内の教職員に伝わるように事務局として働きかけていこうと思っています。

(正司委員)

今のお話を聞いて少し安心しましたし、更に進めてほしいと思いました。点数で表せるような、各学年でクリアすべき学力も当然大切ですが、友達との対話の中で主体的に学ぶということも学力ですので、そちらが鍛えられるという期待があります。その面で伸びている子供たちも上手に評価してあげてほしいと思います。

(福本教育長)

ほかに御質問等ございますか。

よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

公開案件は以上となりますが、教育委員の皆様から教育委員会会議で取り上げるべき事項について、御意見はございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日の公開案件を終了いたします。

閉会14時09分